



## 山口県内の経済情勢

令和 8 年 1 月 29 日

財務省中国財務局  
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先 :

財務省中国財務局山口財務事務所

財務課長 吉田

TEL : (083) 922-2190(代)

HP 掲載先 :

[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/  
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも  
確認できます。

## 1. 総論

### 【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡

(注) 8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

### (判断の要点)

個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

### 【各項目の判断】

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	➡
生産活動	持ち直しつつある中、一部に弱さがみられる	持ち直しつつある	➡
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	➡

設備投資	7年度は前年度を下回る見込み	7年度は前年度を下回る見込み	➡
企業収益	7年度は増益見込み	7年度は増益見込み	➡
企業の景況感	「下降」超幅は縮小	「下降」超幅は縮小	➡
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	➡
輸出	前年を下回る	前年を下回る	➡

### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店・スーパー販売、ドラッグストア販売は飲食料品、家電大型専門店販売はパソコンなどが堅調であることから、前年を上回っている。

ホームセンター販売では工具・資材などが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は普通車などが低調であることから、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 時短を重視するトレンドが続いていることから、簡単に調理できる半調理商品や冷凍食品の売上が伸びている。また、クリスマスはチキンなどの総菜、年末年始はおせちが好調であった。引き続きメリハリ消費の傾向がみられ、高額なおせちもよく売れていた。(スーパー)
- 11月に入り寒い日が続いたことで、鍋物食材が堅調に推移したほか、乾燥対策として保湿クリームが好調。加えて、インフルエンザの流行により、アルコール消毒液や風邪薬などの需要が高まっている。(ドラッグストア)
- 10月にWindows10のサポートが終了したことでパソコンの買い替え需要が高く好調。(家電大型専門店)
- DIY 資材や工具は、材料価格の上昇に加え、食品価格の高騰で家計の節約志向が強まる中、売上が伸び悩んでいる。(ホームセンター)
- 車両本体価格が新型車や仕様変更のたびに上昇しており、新車購入を控える傾向にある。(自動車販売店)
- 宿泊費が高騰する年末年始を避けた旅行の分散化がみられた。春に向けた旅行予約が好調であり、引き続き旺盛な旅行需要が続いている。東京や大阪などのテーマパークが人気となっている。(旅行代理店)

### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

化学は医薬品や自動車関連需要の増加、輸送機械は海外需要、汎用・生産用・業務用機械は海外の設備投資が堅調なことなどから、増加している。

鉄鋼は建設需要が低調であることなどから、減少している。

- 自動車メーカーの増産に伴い、自動車関連部品等の需要が堅調。(化学)
- 海外向け需要が堅調であり、生産は持ち直している。(輸送機械)
- 脱炭素の流れを受け、環境規制に対応した船舶の更新需要が高まっており、船用機械の受注が堅調。(汎用機械)
- 資材高騰などで住宅建設の動きが弱含んでおり、需要が減少している。(鉄鋼)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、堅調に推移している。

新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業などで減少しており、前年を下回っている。

- 土日祝日が休みでない勤務形態が敬遠され人材の確保が難しい。短時間勤務のスポットワーカーや外国人労働者を採用することで必要な人員を確保している。(宿泊)
- 人件費の高騰が続いているため、オーダーのタブレット化やセルフレジの導入によって省人化を図る飲食店が増加している。(公的機関)

- 設備投資 「7年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12期
  - 製造業は、化学などで増加するものの、生産用機械、電気機械などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
  - 非製造業は、運輸・郵便などで減少するものの、金融・保険、建設などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 前年度まで新工場の大型設備投資を行ったが、今年度は設備の維持更新のみ。(生産用機械)

➢ 店舗の移転やDX化への投資を計画している。(金融・保険)
- 企業収益 「7年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12期
  - 製造業は、電気機械などで減益となるものの、生産用機械、窯業・土石などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
  - 非製造業は、学術研究、専門・技術サービスなどで増益となるものの、運輸・郵便、建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 企業の景況感 「『下降』超幅は縮小」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12期
  - 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- 住宅建設 「前年を下回る」
  - 新設住宅着工戸数は、持家、賃家が減少していることから、前年を下回っている。
- 輸出 「前年を下回る」
  - 輸出(円ベース)は、自動車、一般機械などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、中東などで減少している。  
なお、輸入(円ベース)は、石油製品、原油及び粗油などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、中東欧・ロシア等などで増加している。

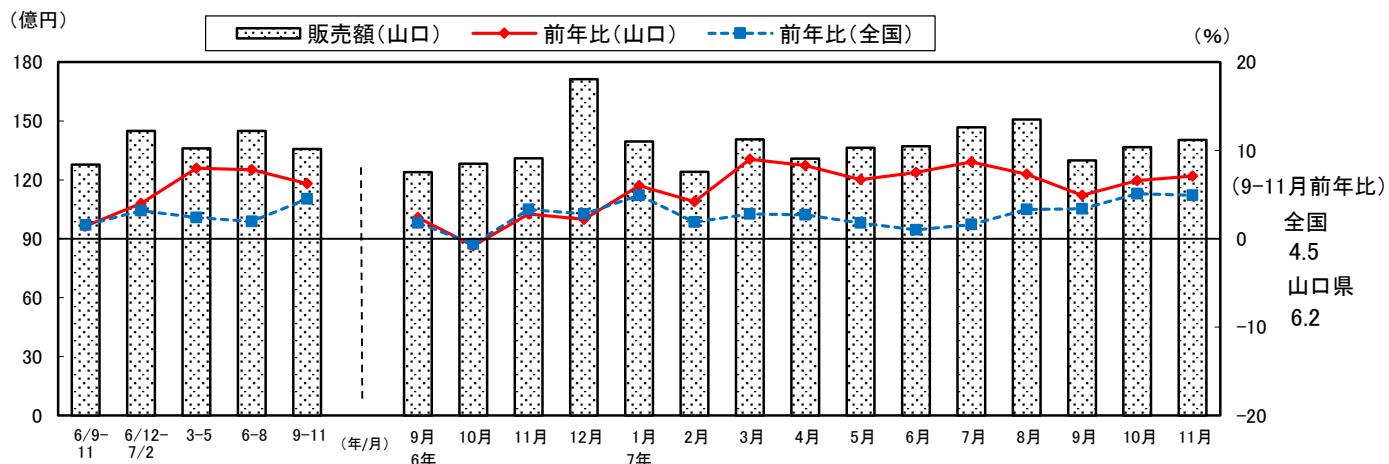
## 資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸出	7

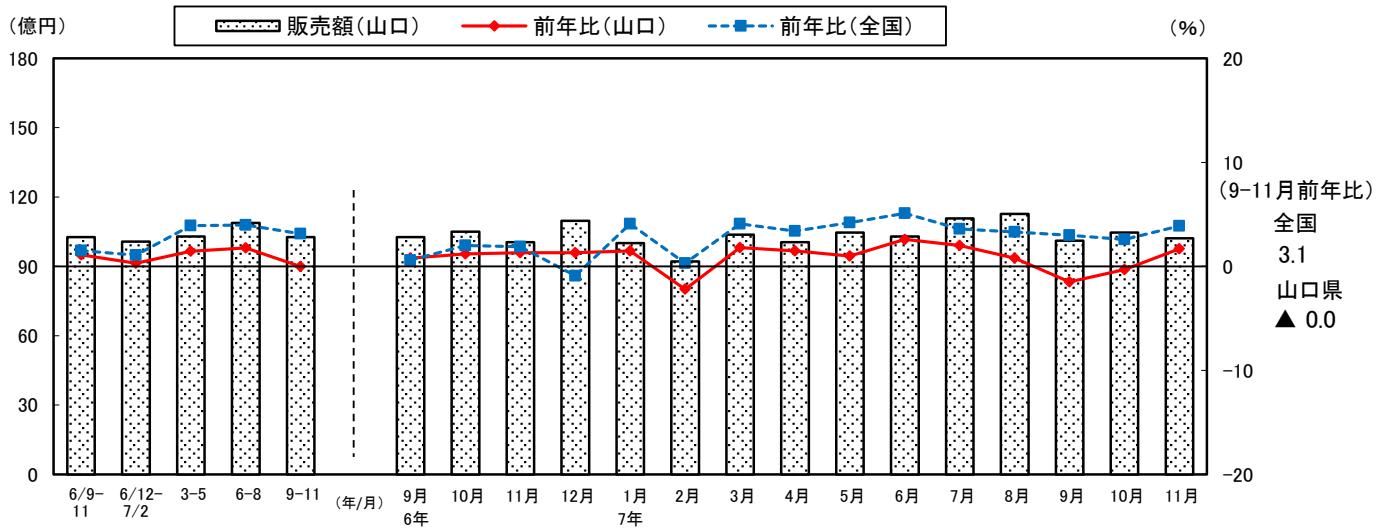
## 1. 個人消費 回復しつつある

### (1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

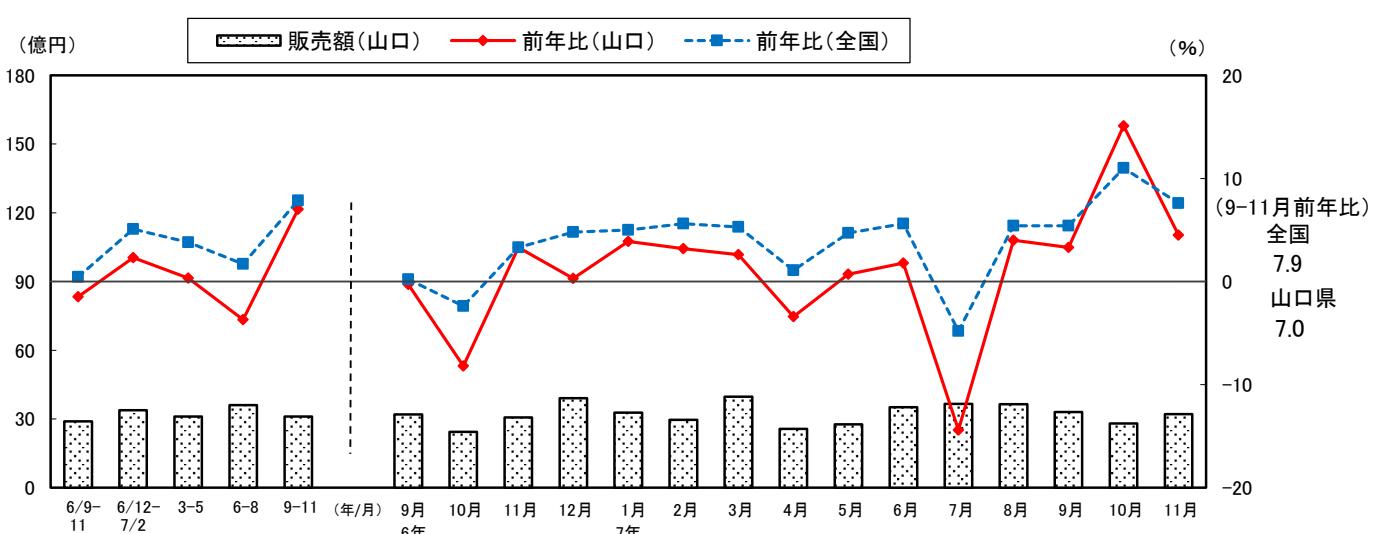
(注)(1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



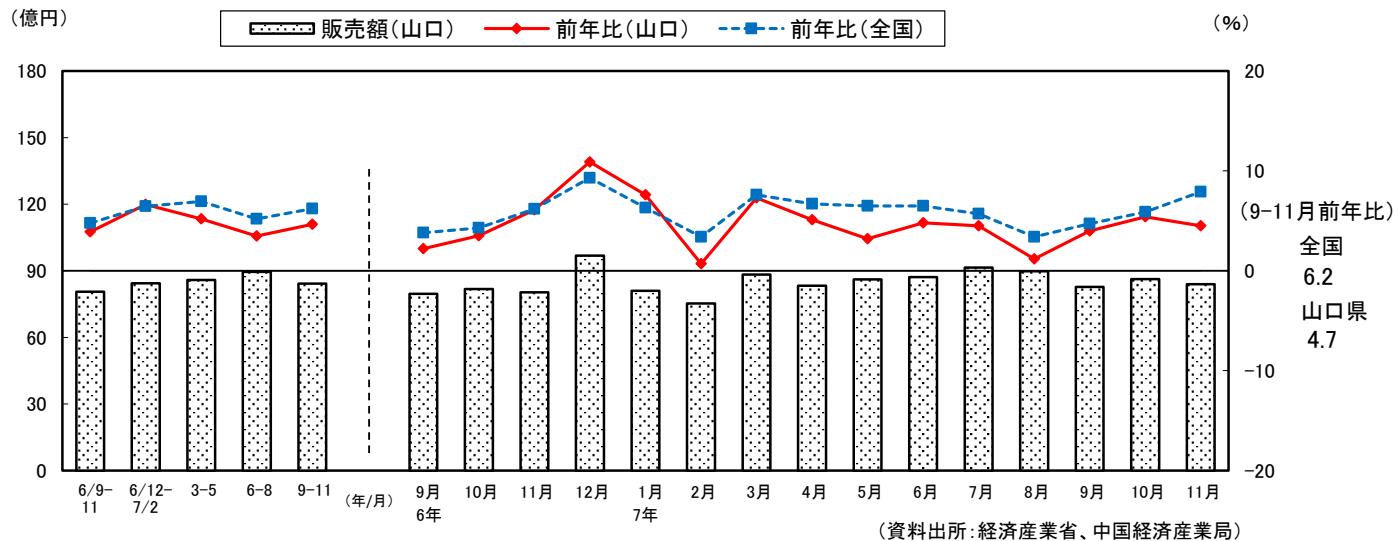
### (2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



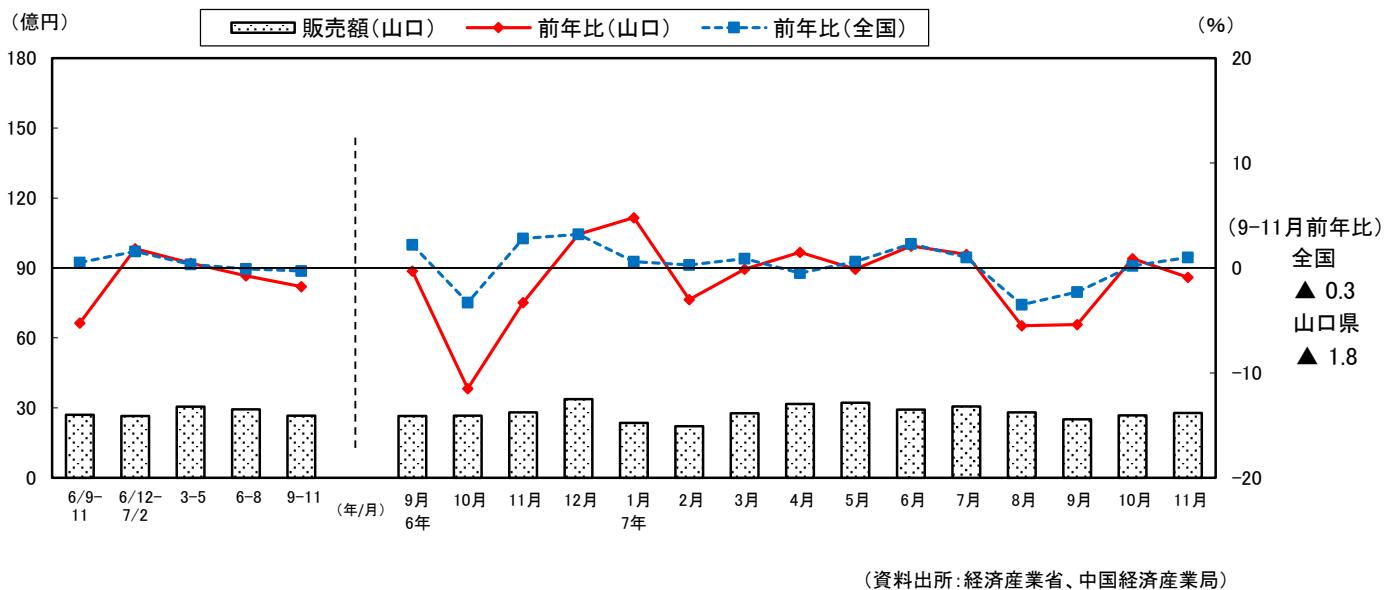
### (3) 家電大型専門店販売額(全店舗)



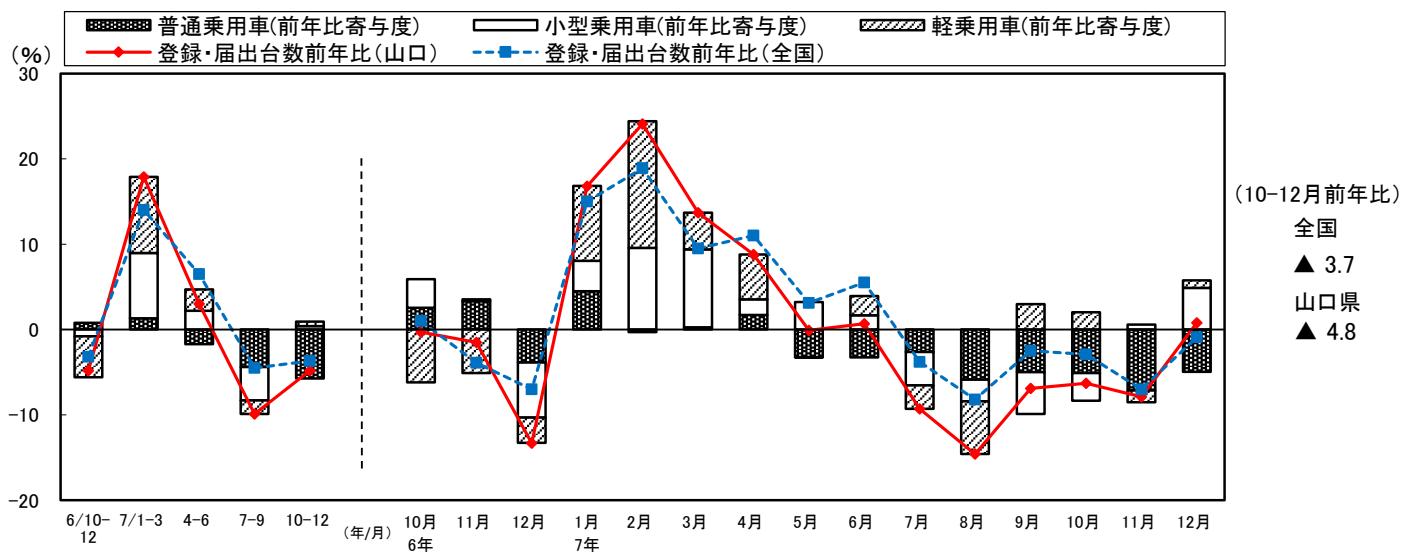
#### (4) ドラッグストア販売額(全店舗)



#### (5) ホームセンター販売額(全店舗)

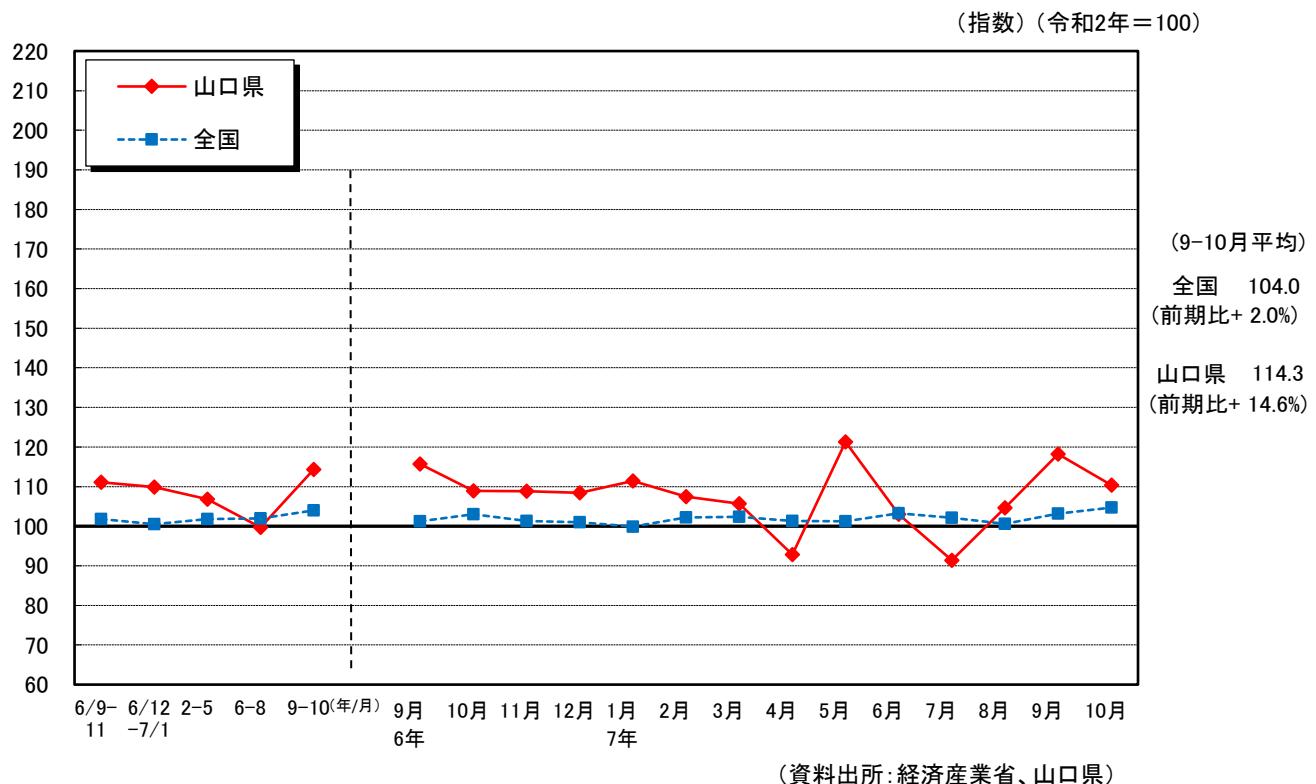


#### (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

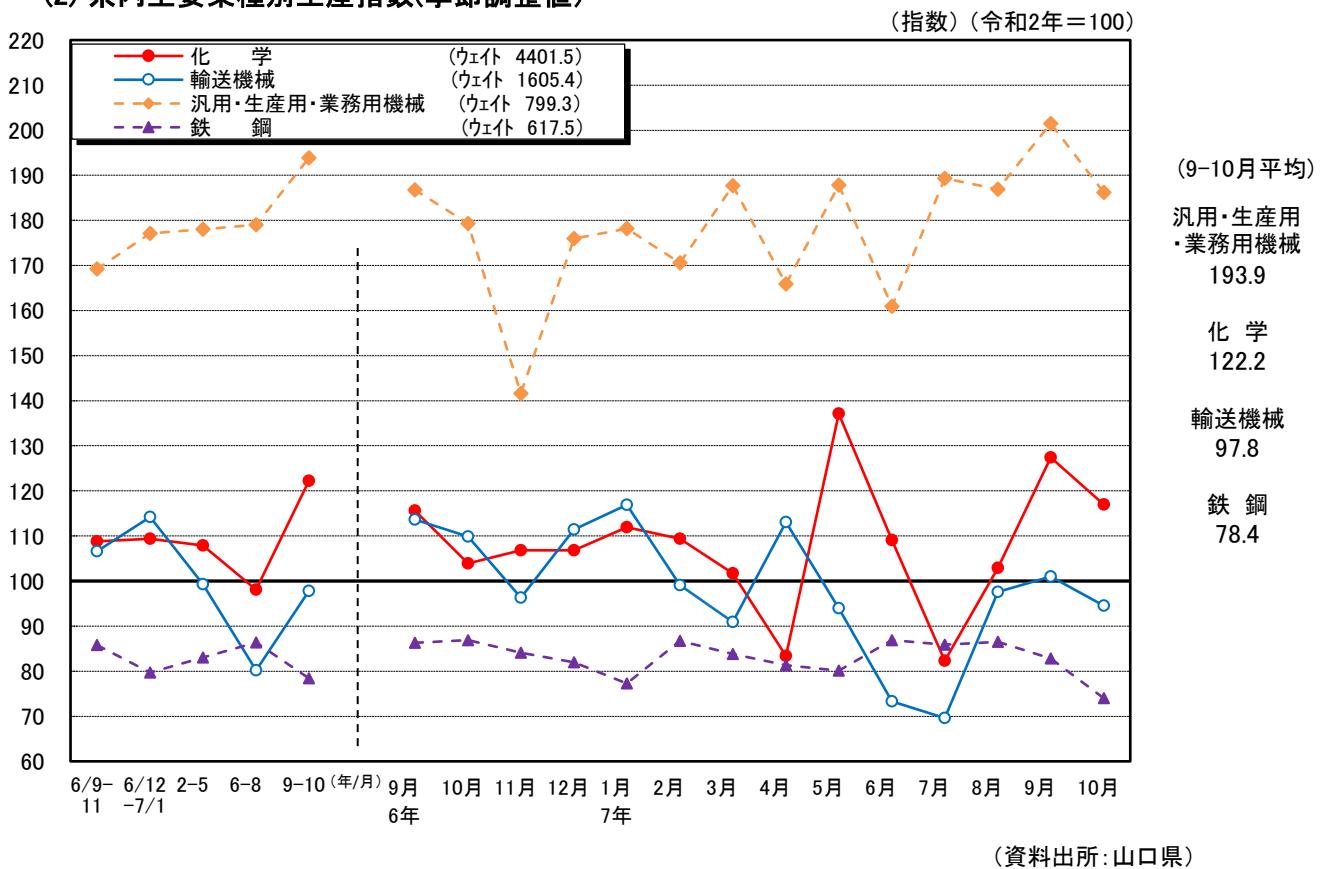


## 2. 生産活動 持ち直しつつある

### (1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



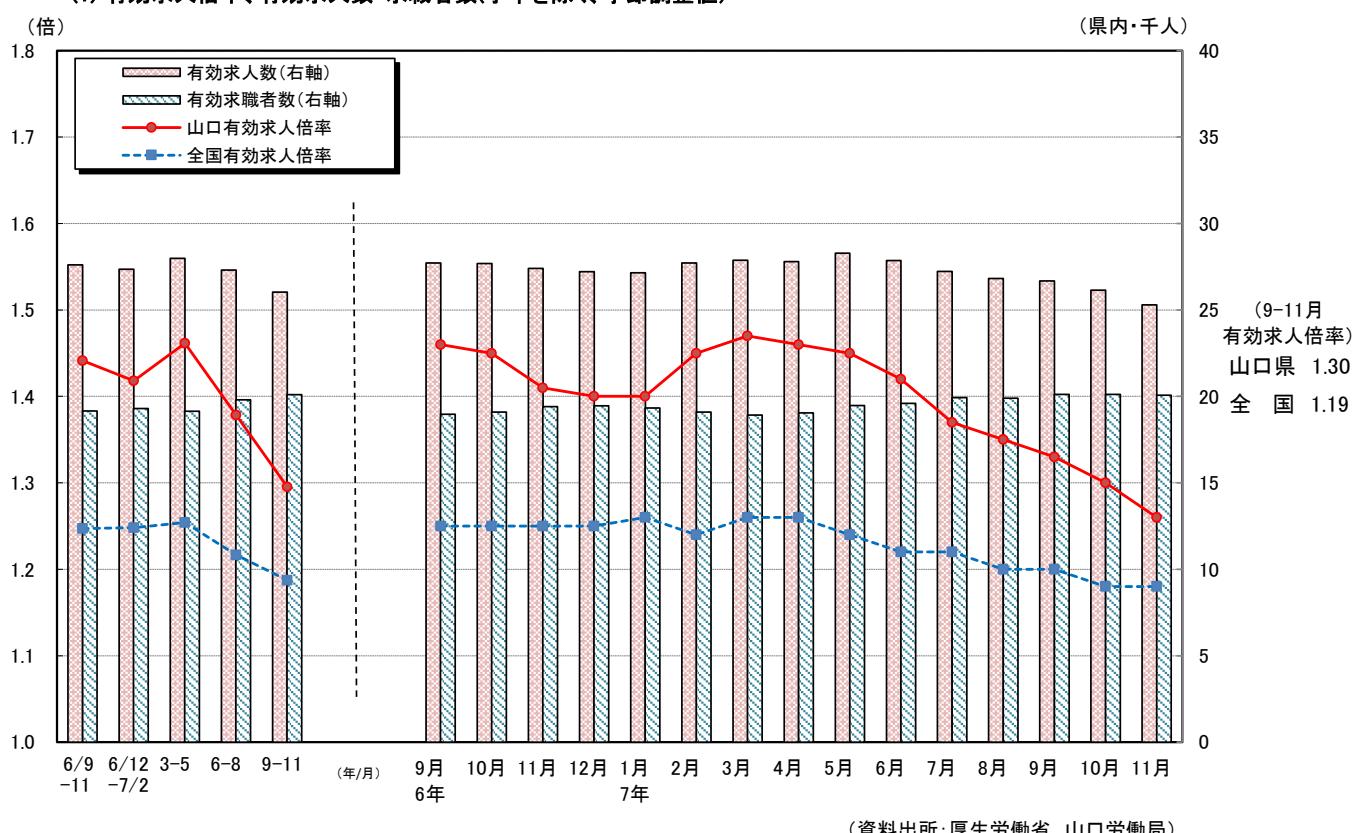
### (2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



### 3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

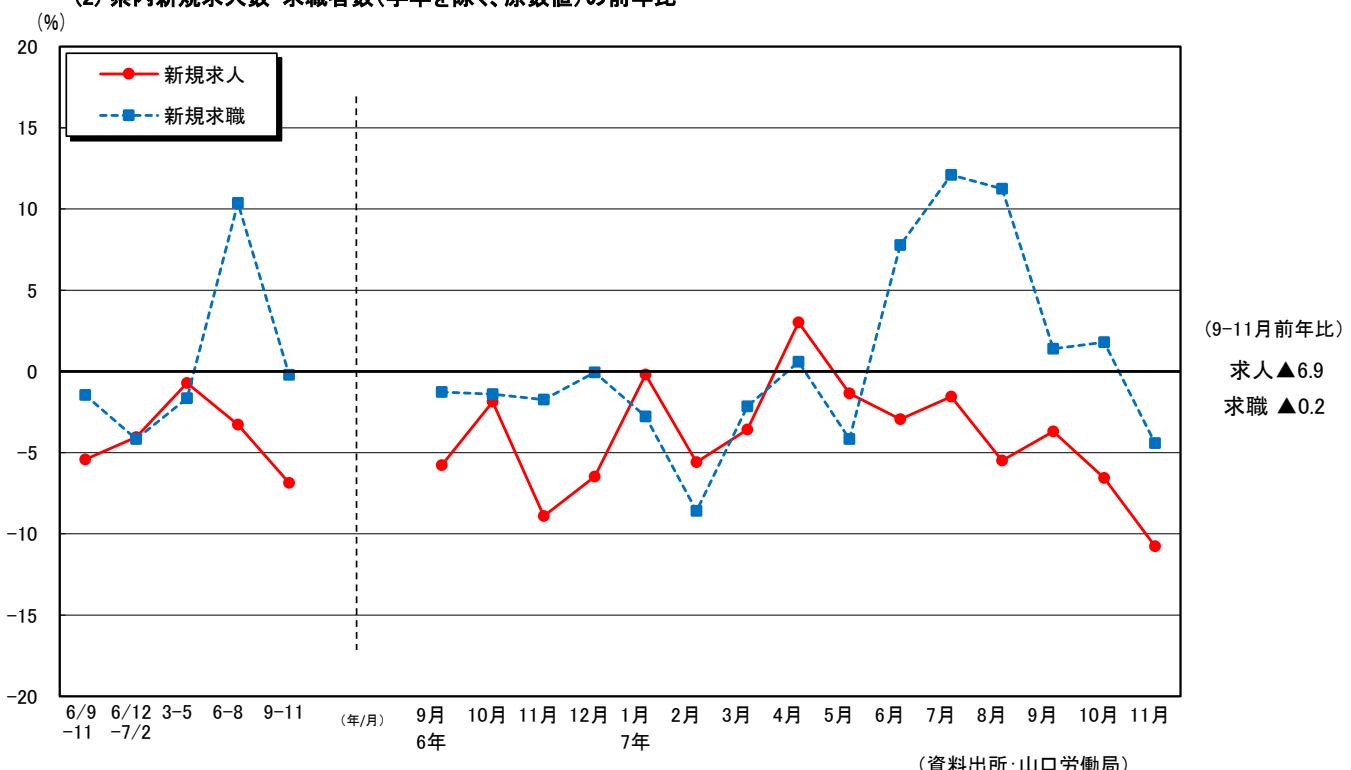
(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

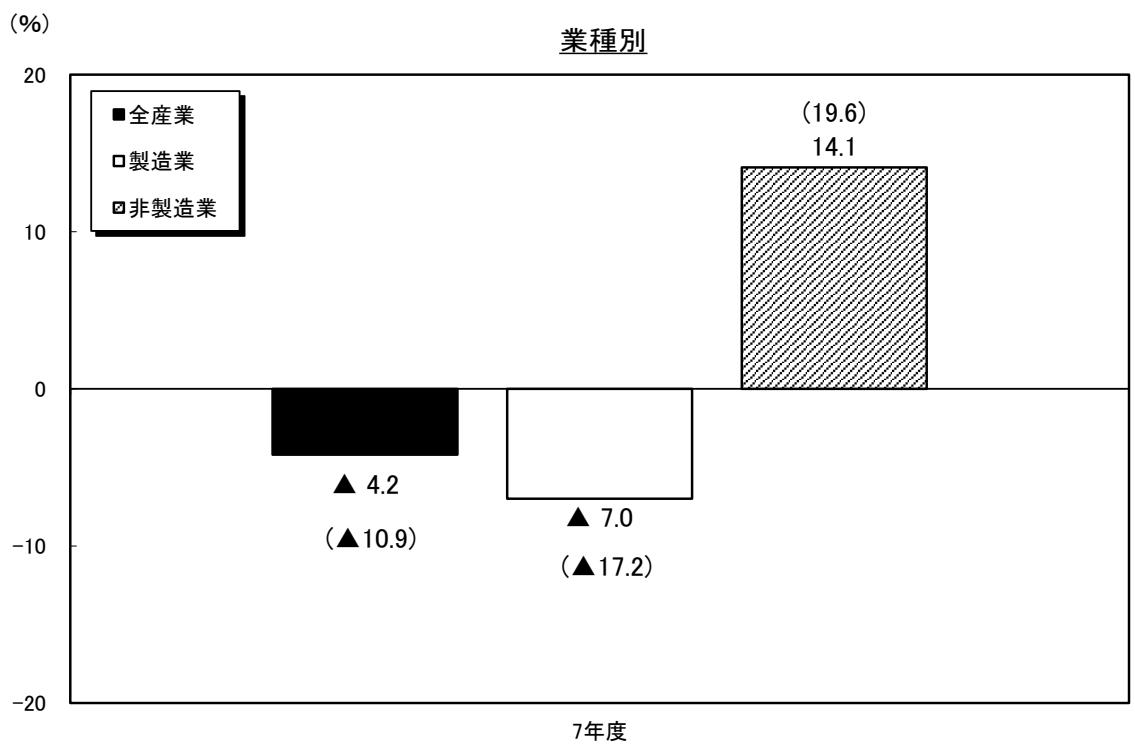
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数值)の前年比



(資料出所:山口労働局)

## 4.設備投資 7年度は前年度を下回る見込み

設備投資額(前年度比)

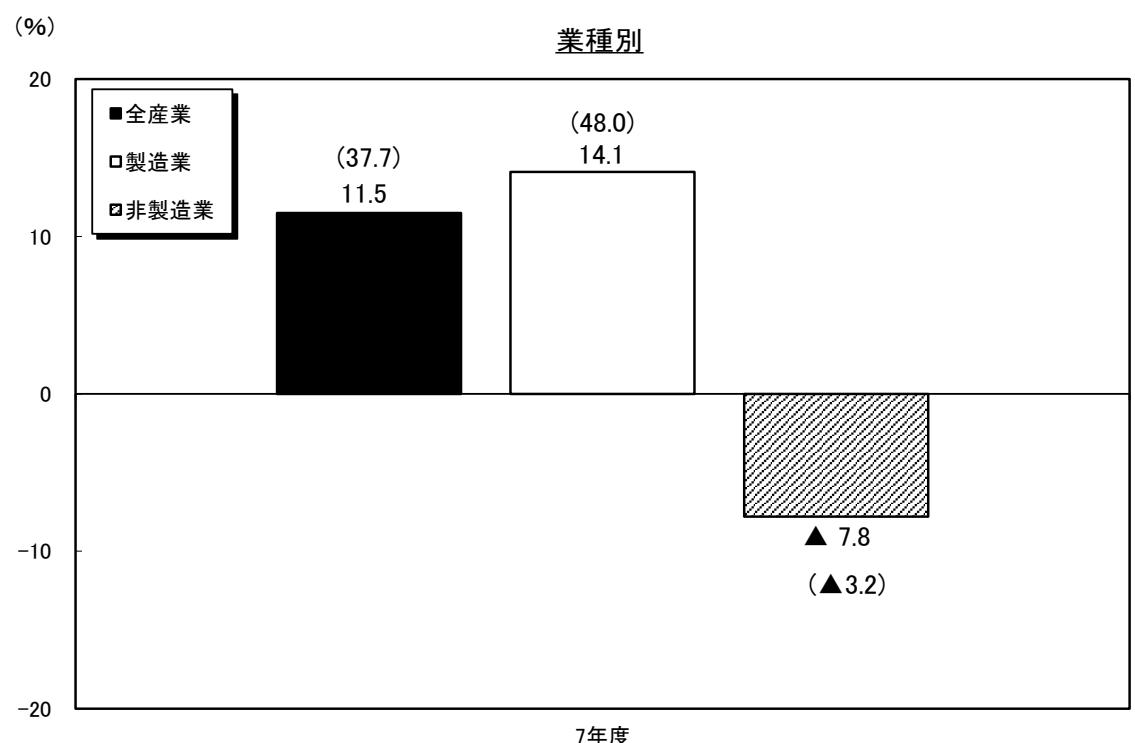


※()書きは前回(7年7~9月期)調査結果

(資料出所:山口財務事務所)

## 5.企業収益 7年度は増益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)

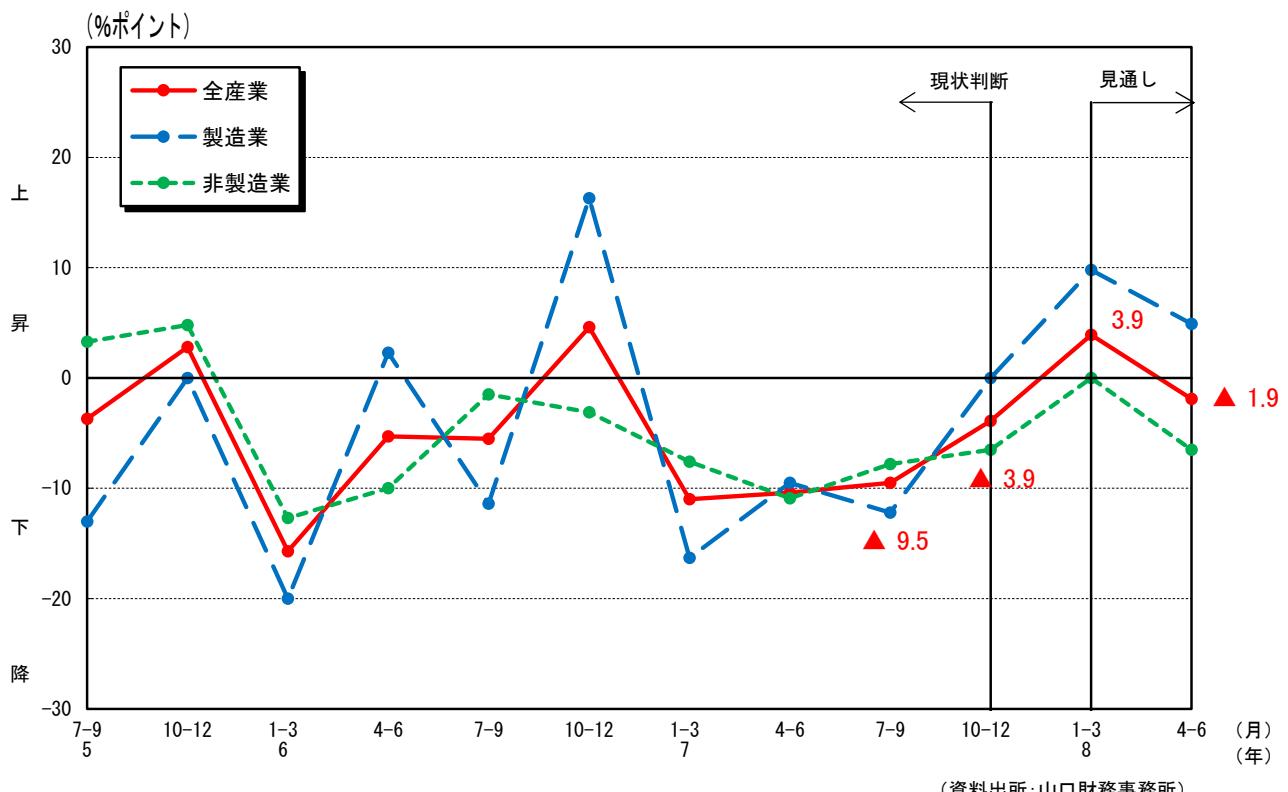


※()書きは前回(7年7~9月期)調査結果

(資料出所:山口財務事務所)

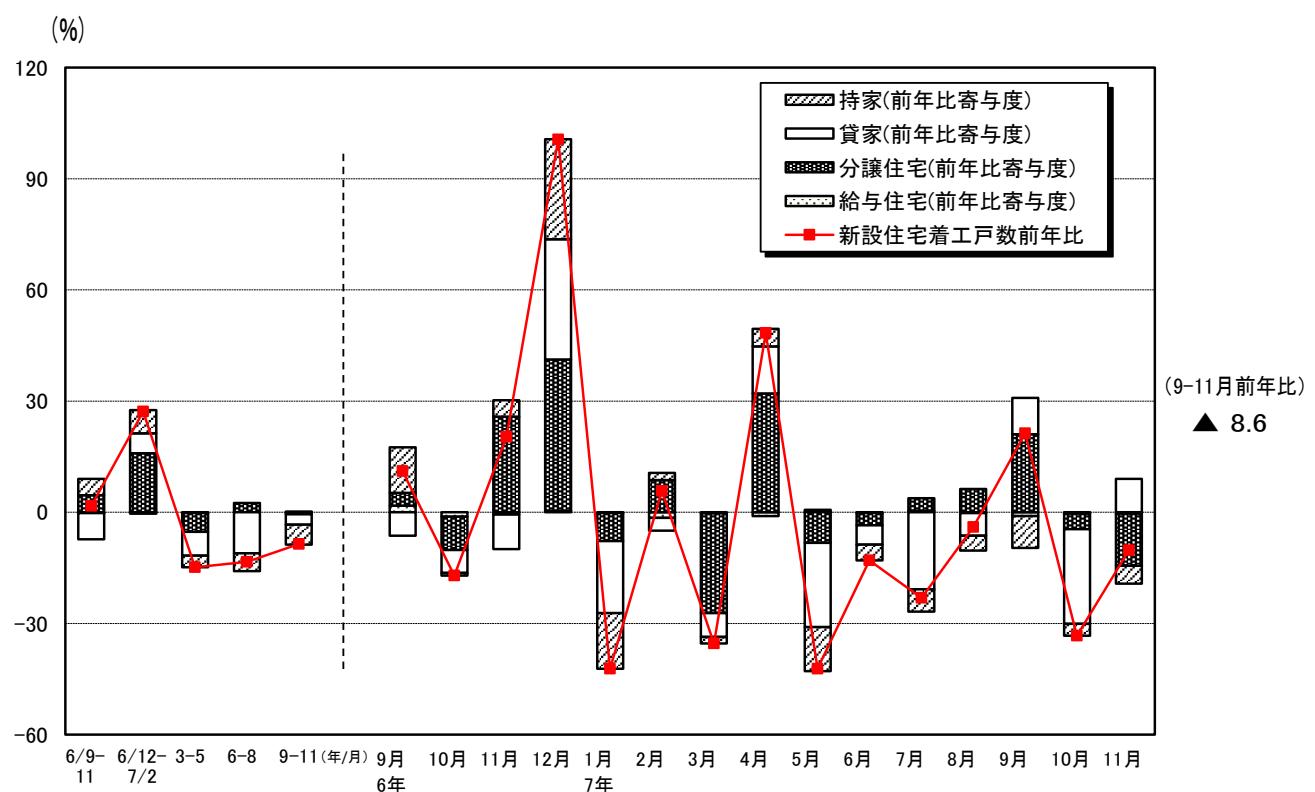
## 6.企業の景況感 「下降」超幅は縮小

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

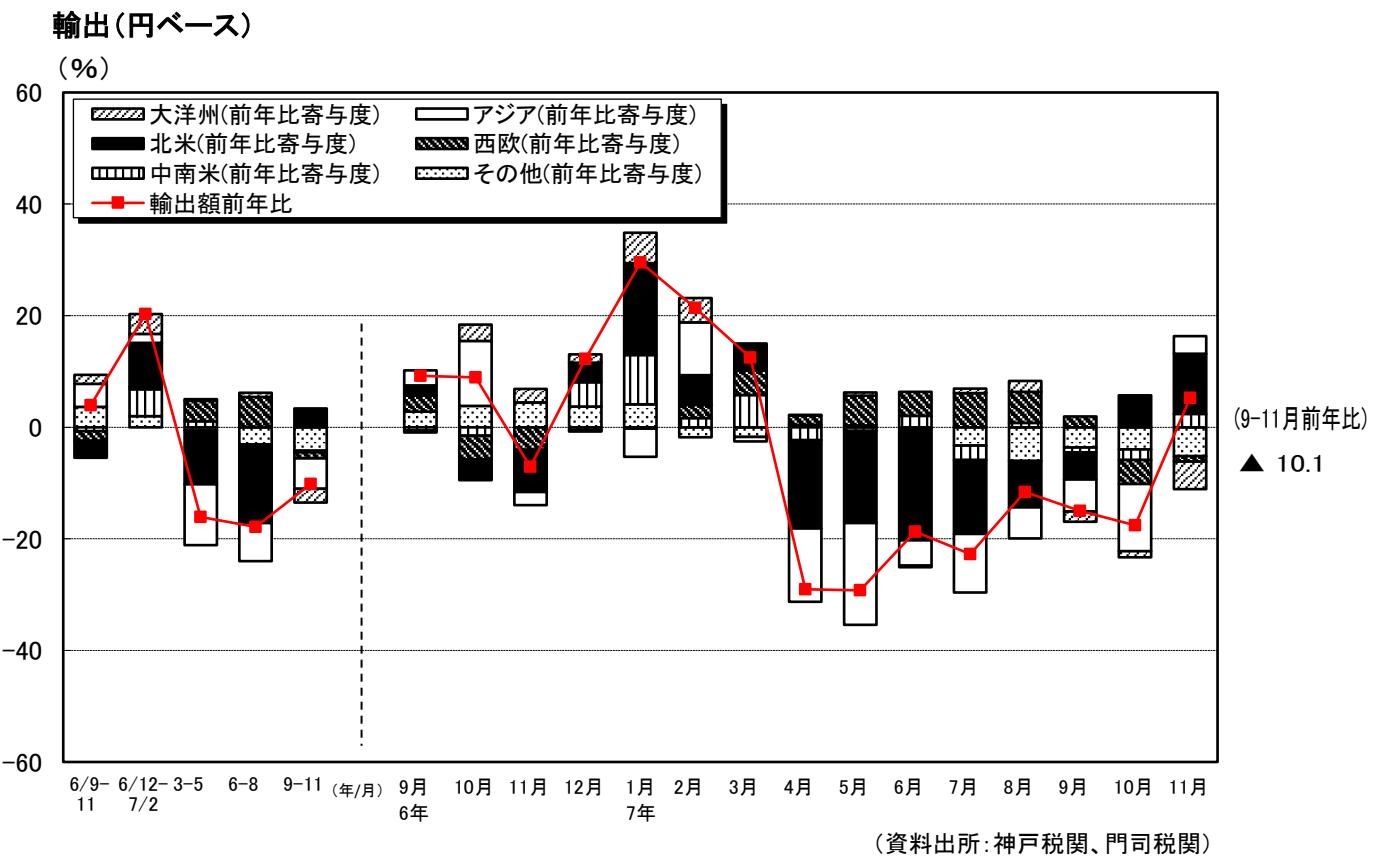


## 7.住 宅 建 設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



## 8. 輸出 前年を下回る



<参考>

